

「里山」— それは、暮らしを支え、生きものを育む 半自然

三田市里山情報紙 編集・発行：三田市里山のまちづくり課 Tel. 079-559-5226

さんだ 里山めぐり

令和5年

7月号

第10号

過去号はこちら↑



キッピー山のラボ 有馬富士自然学習センター — 里山を活かした人材育成



三田市有馬富士自然学習センター(愛称:キッピー山のラボ)は、豊かな自然・緑に親しみ、自然のしくみ、自然と人間の関わり方を学習することで、健全でこころ豊かな子どもたちの育成を図ることを目的とした施設です。

体長5mのクワガタムシ模型や、ため池の中の生き物が見られる大水槽など、楽しみながら里山や自然に親しめる展示がされています。また、施設スタッフ(コミュニケーター)さんが自然を使った多様なイベントを行っています。

今回は、当施設で行われている人材育成プログラムに、里山のまちづくり課職員が体験参加しましたので、レポートします。

ジュニアスタッフ ～「お仕事体験×生き物への知的好奇心」

ジュニアスタッフとは、4年生～6年生の参加者が、センタースタッフとしてお仕事体験をしながら、生き物への興味関心をひろげ自然や生き物の大切さを学ぶプログラムです。

月に1回、キッピー山のラボの一員として、展示物の作成、生き物調査、来館者に向けたイベント開催などを行っています。

ただ自然好き、生き物好きを育てるのではなく、周りの人とコミュニケーションをとりながら、協力・協調して物事に取り組める人の育成を目的としています。



イベントやったよ



生き物のすみか作り



生き物調査



動物は何を食べているの？



図鑑を見て調べるよ

キッピー山のラボのお仕事を体験しませんか？コミュニケーターと一緒にいきもの調査・展示作成・ワークショップの準備などを行う小学生スタッフを募集します(多数の場合は抽選)。

【期間・日時】= 令和5年9月～翌年8月(全12回)、月1回土曜または日曜 10時～12時30分

【年間料金】= 4,000円 【対象】= 小学4～6年生

【申し込み】= 8月11日までに右の二次元コードより。



問合せ:キッピー山のラボ
☎ 079-569-7727

三田市有馬富士
自然学習センター

キッピー山のラボ
THE LABORATORY OF MKIPPY, SANDA

ジュニアスタッフ
第6期生 募集!!



林を湿地にもどすプロジェクト

今回、笹を刈り、木を切り、池を掘って、湿地を再生する取組みに参加しました。

有馬富士は昔、薪や農業のために木が切られ、(森にならない)湿地がたくさんあったそうです。しかし、人の手が入らなくなったため、うっそうとした藪になってしまっています。サンショウウオやカエルなど、湿地を利用する生き物には生きづらく、暗くて背丈の低い草花にも日の光が届きません。

活動は2年目ということで、園路沿いには既に開けた場所が出来ていました。いざ掘り始めても、地中の根が邪魔だったり、笹を刈りすすめたりと一筋縄では行きません。でも、どろんこで、みんなでわいわい話しながら掘るのは、大人もとても楽しい！たった一日でも大きな池ができて達成感も高い活動でした。

1年目の活動



笹を刈って、明るく見通しをよくしよう！

1年目の活動



木を切って、藪を切り開くぞ！



① 切り開いたら、池掘りだ！



② 根が残っていて、掘るのも大変



③ 上の池と水路で繋いで完成！

有馬富士の魅力

このような取り組みは、個の力だけでは達成が難しいことでしょう。みんなで話し合っ、力を合わせて取り組めば、作業も進むし、楽しくて持続性も高まります。目標に向かって一緒に成し遂げていく力を養い、その体験を良い思い出にして大人になっていく、そんな素敵なプログラムだと感じました。

支援されているコミュニケーターさんの中にもジュニアスタッフ卒業生の方がおられ、「有馬富士での素晴らしい原体験を次世代に伝えたい」という思いで携わっている、というお話をうかがいました。

有馬富士は公園施設だけではなく、豊かな自然に触れ合える貴重な場所です。ぜひ、有馬富士で子育ての機会を持たれてみてはいかがでしょうか？！

(文責:三田市里山のまちづくり課岡野)



保護者の方も手伝いながら、2年でこれだけ広がりました。湿地にやってくる生き物の調査も行っていくそうです。



終わったら道具掃除もしっかり



どろんこ姿で「はい、ポーズ」